

令和6年度
第1回
外部評価委員会



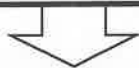
MIYAZAKI AGRICULTURAL JUNIOR COLLEGE

宮崎県立農業大学校

令和6年度 学校教育方針及び教育目標

宮崎県立農業大学校

教育方針	農業県・宮崎における実践農業の教育機関として、校訓「自律・創造・協調」を基調とした教育により、将来、本県の農業を担う人材を育成する。
------	--

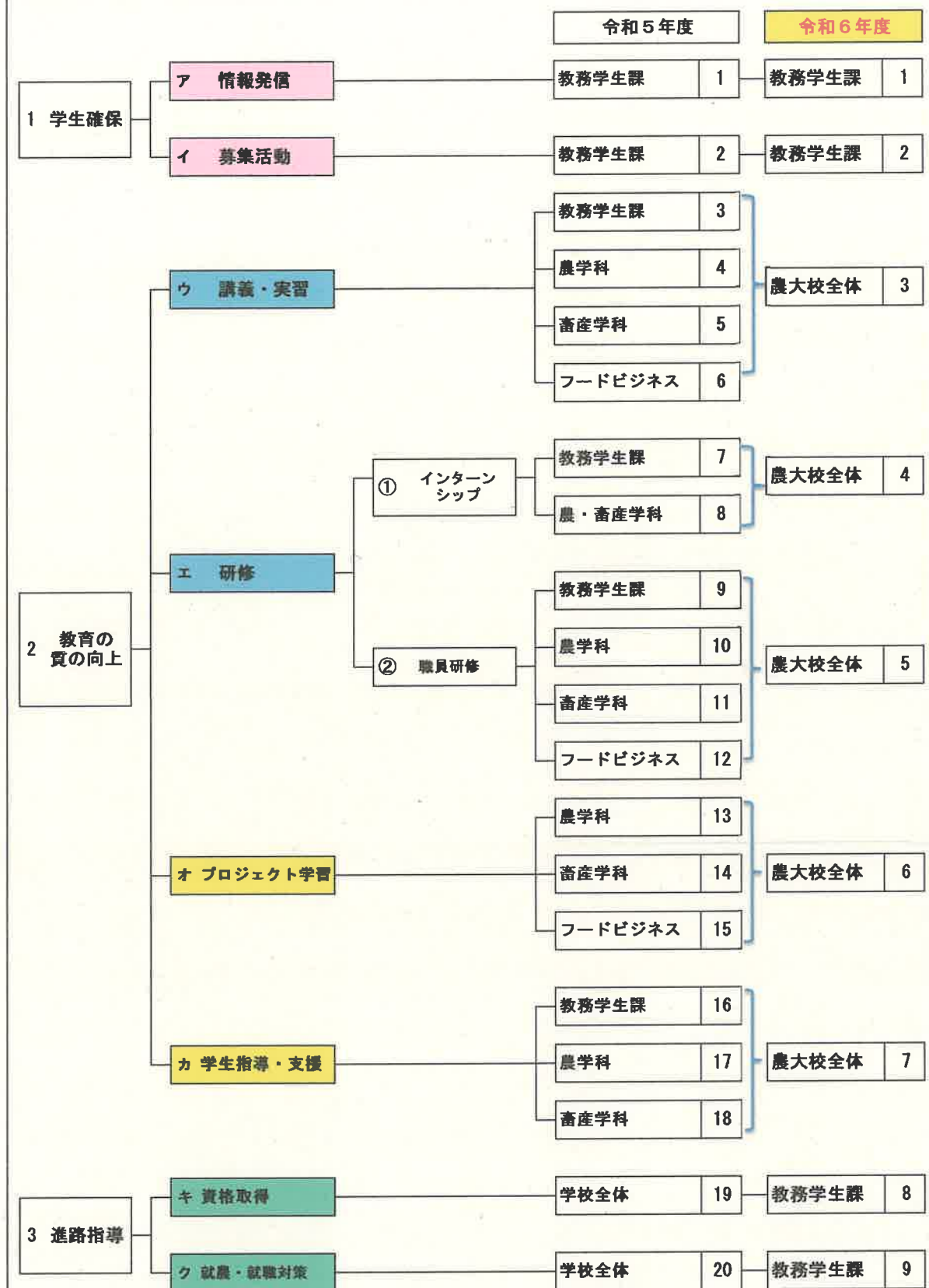


学校の教育目標	①「生産する力（生産技術）」を育む。 ○講義、演習、農場実習で「生産する力」の定着を図る。 ○インターンシップ、自主企画研修等の校外学習で「生産する力」の向上を図る。
	②「経営する力（経営スキル）」を育む。 ○農業経営科目の講義や農場実習で「経営する力」の定着を図る。 ○校外学習や『学生出資会社』で「経営する力」の向上を図る。
	③「課題を解決する力（課題を見つけ計画的な取組で解決する力）」を育む。 ○専攻実習における『プロジェクト学習』で「課題を解決する力」の定着を図る。 ○『地域連携型プロジェクト学習』で「課題を解決する力」の向上を図る。 ※高校、農家・農業法人、関係機関等とのコンソーシアム方式による連携・共同プロジェクト学習
	④社会性を育む。 ○農家・農業法人における研修、企業連携新商品開発、流通・販売学習を通し、地域社会において積極的に活動し、「ネットワークを構築する力」の定着を図る。 ○『地域連携型プロジェクト学習』を通して「社会で活躍する力」の向上を図る。 ○学生自治会活動や寮生活を通して「コミュニケーション力」や「協調性」の向上を図る。



各学科が育成する人材像	農学科	畜産学科
	本県で主に栽培されている品目を教材に取り上げ、その特徴や栽培技術、商品化技術、農産物の加工・販売についての実践学習を通して、高度な生産技術と経営スキルを身につけ、将来、本県農業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成する。	本県で主に飼育されている畜種を教材に取り上げ、その特徴や飼育管理・繁殖管理・肥育管理技術、出荷の方法、畜産物の加工・販売についての実践学習を通して、高度な生産技術と経営スキルを身につけ、将来、本県畜産業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成する。
	フードビジネス専攻 農産物・畜産物を利用し、消費者に安全で高品質の製品を提供するため、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理、食品加工技術の向上、食品関連産業との連携による新商品開発力、学生出資会社の運営による流通・販売に至るまでの学習を通して、将来、本県のフードビジネスに幅広く対応できる柔軟な発想力とスキルを身に付けた人材を育成する。	

学校評価における「評価項目」の見直し



【見直しの理由】

令和5年度の評価項目は、各学科等に細分化され20項目と非常に多く、評価検討等に時間を要し有意義な協議が実施できないため、学校全体での評価を行う9項目に見直す。

なお、令和6年度は移行期間として、20項目の目標及び取組計画を調整し、9項目に修正して対応する。

別添2

評価項目	1. 学生確保	ア. 情報発信	教務学生課
------	---------	---------	-------

令和6年度の目標	校内外に向けた学校HP・SNSを活用した情報発信
----------	--------------------------

■取組計画

☆は、新たな取組又は強化する取組
※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

◇目標に対する取組等

①校内外に向けた学校HP・SNSを活用した情報発信

- ・情報アップと更新に努める。Facebook年間100回の更新、ホームページ30回更新
- ・電子掲示板や掲示板を活用し、掲示情報の充実
- ・メールでの発信やTeamsを活用した、情報共有による業務の効率化
- ・情報発信についてタイミングを図りながら、計画的な情報の発信 ☆

②効果的な情報発信に向けた体制づくり ☆

- ・更新する人数の増員
- ・安心安全メールの配信に向けたルールづくり

■取組実績と成果

--	--	--

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--

評価項目	1. 学生確保	イ. 募集活動	教務学生課
------	---------	---------	-------

令和6年度の目標	入学定員65名の確保（農学科40名、畜産学科25名）
----------	----------------------------

■取組計画

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

◇目標に対する取組等

①教育内容のPR

- ・学校説明会や進路ガイダンスへの積極的な参加
- ・高校訪問、オープンキャンパスの工夫
- ・高校訪問による授業参観及び意見交換会の実施（農業高校以外） ☆
- ・農業系以外の高校（普通、工業、商業、海洋、私立校など）にPR活動の強化
- ・県外校へのPR活動
- ・四年制大学への編入可能な専修大学校であることを周知

②積極的な情報発信

- ・学校HPやSNSを活用した情報発信
- ・関係機関の事務所等にも、学生募集の資料、チラシ等の配布、掲示等を依頼
- ・学校行事や取組等で、マスコミ（新聞・TV等）の積極的な活用

■取組実績と成果

--	--

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--

評価項目	2. 教育の質の向上	ウ. 講義・演習	教務学生課 農 学 科 畜 産 学 科 ○フードビジネス
------	------------	----------	---------------------------------------

令和6年度の目標	①学生の多様化に対応したカリキュラムの構築 ②基本的な生産技術と経営スキルの習得 ③有機農業の知識・技術習得 ④スマート農業技術の習得
----------	--

■取組と計画

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

①学生の多様化に対応したカリキュラムの構築

・改訂したカリキュラムの検証 ☆

②基本的な生産技術と経営スキルの習得

・先進的経営体及び関係団体と連携した実践的な講義・演習、資格取得による生産技術の習得
 ・「アグリカレッジひなた」での実践学習を通じた経営スキルの習得
 ・商品開発と販売によるフードビジネス関連スキルの習得

③有機農業の知識・技術習得

・有機農業概論、有機JAS認証講座の実施 ☆

④スマート農業技術の習得

・関連企業や大学、法人等と連携した講義・演習の実施
 ・スマート農業技術に関する資格取得

■取組実績と成果

--

内部評価		
外部評価		

◇次年度への課題

--

評価項目	2. 教育の資質向上	エ. 研修 (①インターンシップ)	教務学生課 ○農 学 科 畜 産 学 科
------	------------	-------------------	----------------------------

令和6年度の目標	①進路選択を見据えた研修先選定体制の拡充 ②研修先との連携強化
----------	------------------------------------

■取組

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

①研修先選定体制の拡充

- ・過年度のインターンシップ研修先や就職情報等の整理と、校内での情報共有。☆
- ・自主企画研修の事前説明と各学生に対応した細やかなフォローアップ。

②研修先との連携強化

- ・事前に作業内容を確認し、研修先との問題点を共有。
- ・自主企画研修は、学生の進路と研修内容が合致しているか確認し、研修先や関係団体等とも情報交換を行いながら取り組む。

■成果

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--

評価項目	2. 教育の資質向上	エ. 研修 (②職員研修)	教務学生課 ○農 学 科 畜 産 学 科 フードビジネス
------	------------	---------------	---------------------------------------

令和6年度の目標	①学生指導力と専門指導力の向上
----------	-----------------

■取組計画

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

①学生指導力の向上

- ・ ICT活用校内研修☆と特性のある学生対応の校内研修の実施（校内研修各1回）
- ・ 学生による授業評価の実施（講義に対する満足度 概ね8点/10点）

②専門指導力の向上

- ・ 職員の各種資格取得（延べ6名）
- ・ 継続的に指導現場で活かせる効果的な指導資料の作成（レシピの見える化 3商品）☆
- ・ 専門業種所管の企業、機関と連携した専門性の高い指導体制の構築（研修会2回、講義11回）

■取組実績と成果

--	--

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--

評価項目	2. 教育の資質向上	オ. プロジェクト学習	農 学 科 ○畜 産 学 科 フードビジネス
------	------------	-------------	------------------------------

令和6年度の目標	①高大、産学官、地域との連携によるプロジェクト活動の実践
----------	------------------------------

■取組計画

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

①高大、産学官、地域との連携によるプロジェクト活動の実践

- ・ 企業と連携した研修（高大連携研修3回） ☆
- ・ みどり戦略学生チャレンジへの取組（3課題） ☆
- ・ 地域資源活用に取り組む企業や有機栽培実践者等と連携した環境負荷低減講座の実施
- ・ チャレンジファームと連携した講義や研修（3回）
- ・ 普及性のある結論を導き出すための調査方法の指導及び検討

■取組実績と成果

--	--	--

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--

評価項目	2. 教育の資質向上	力. 学生指導・支援	教務学生課 農 学 科 ○畜 産 学 科
------	------------	------------	----------------------------

令和6年度の目標	①学生自治会活動組織の活性化と人材の育成 ②農場長を中心とした農場運営の充実とGAP・HACCPの実践力強化
----------	---

■取組計画

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

- ①学生自治会活動組織の活性化と人材の育成
- ・定例研修会や役員会の実施で、役員の資質向上を図る。
 - ・各部会ごとの振り返りや次の取組の具体策を図る。
 - ・月1回のクリーン（環境美化）活動の実施 ☆
 - ・各種規定等の見直しの実施 ☆
- ②農場長を中心とした農場運営とGAP・HACCPの実践力強化
- ・講義や実習を通じたGAPの自主的な実践
 - ・物品管理部（学生）機械担当の点検記録の充実 ☆
 - ・ひなたGAPの取得品目拡大（2品目） ☆

■取組実績と成果

--

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--

評価項目	3. 進路指導	キ. 資格取得	○教務学生課 農 学 科 畜産学科 フードビジネス
------	---------	---------	------------------------------------

令和6年度の目標	実用的な資格取得に推進
----------	-------------

■取組計画

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

①カリキュラム見直しに伴う検証

- ・カリキュラム及び教務内規の変更に伴う検証 ☆
- ・基礎核力向上を目的とした資格取得のあり方の検討 ☆

②資格取得に関わる改善等

- ☆実施時期や検定代、内容等を整理し周知（学生便覧に反映）
- ・ドローン操作演習に関わるあり方を検討
- ・大特・けん引等農業機械に関する資格取得とカリキュラムのあり方について検討

■取組実績と成果

--

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--

評価項目	3. 進路指導	ク. 就農・就職対策	○教務学生課 農 学 科 畜 産 学 科 フードビジネス
------	---------	------------	---------------------------------------

令和6年度の目標	①年度内の進路決定100% ②就農率55%以上を確保
----------	-------------------------------

■取組計画

☆は、新たな取組又は強化する取組

※「目標」の番号と「取組」の番号は呼応

◇目標に対する取組み等

①年度内の進路決定100%

- ・学生情報や就職情報を共有し、情報の見える化に努める。 ☆
- ・これまでの就職情報（試験内容や面接等）をデータ化し、進路指導の充実を図る。 ☆
- ・農業法人や農業関連企業、ハローワーク等との連携を強化し出口指導の充実を図る。
- ・学生への意識付けに努め、教育相談期間やアンケートを実施し早期進路決定に繋げる。

②就農率55%以上を確保

- ・農大での教育活動として、毎年就農率55%を目標に努める。
- ・法人マッチングの充実及び成果を活用した就職活動の推進に努める。
- ・就農コーディネーターや関係機関と連携した就農サポートに努める。

■取組実績と成果

--	--

内部評価		
外部評価		

◆次年度への課題

--